

VGCシリーズ 結線作業要領書	番号	YGC-0001	1/6
		初版	1998年 12月 17日

1. 適用範囲

本説明書は、VGCシリーズの結線作業方法です。

2. 適用電線

コンタクトの種類によって適用電線を表-1に指定します。

表-1

コンタクトの呼び	適用電線の導体断面積
A	1.25, 2mm <sup>2</sup>
B	3.5, 5.5mm <sup>2</sup>
C	8mm <sup>2</sup>
D	14mm <sup>2</sup>
E2	22mm <sup>2</sup>
F	30, 38mm <sup>2</sup>
Z	2, 3.5mm <sup>2</sup>
△ E1	14mm <sup>2</sup>

NANABOSHI PDF DATA

# 御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため  
予告なく変更することがありますので  
ご了承下さい。

3. 必要工具

○ 一般工具

- ・六角レンチ、スパナ
- ・スケール（150mm以上が測れる物）
- ・電工ナイフ又はシース剥き
- ・ワイヤーストリッパー、ケーブルストリッパー等
- ・ニッパ、ナイフ、はさみ
- ・圧着工具（JIS工具もしくはMIL工具）

○ 特殊工具

- ・コンタクト引抜き工具（A、Z #12用：JET-GCT-K15）  
（B、C #8用：JET-GCT-8）  
△(D 14mm<sup>2</sup>用) HKNK-4.3  
△△(E、F 14・22mm<sup>2</sup>, 30mm<sup>2</sup>, 38mm<sup>2</sup>用) HKNK-7

変更記事	記事	日付	内 容	承認	調査	作成	承認	調査	起草
△	'08.7.15		圧着タリス位置の表示及びコネクタ外呼び追加	宇矢	富永	岡崎	中原	永	富田
△	'06.6.1		形式名称を明記	宇矢	富永	岡崎			

## 4. 適用管用ねじ

シェルサイズによって、使用できる管用ねじを指定する。

VGC-36 ... PF 1  
 PF 3/4 (変換アダプタ使用)  
 PF 1/2 (変換アダプタ使用)

VGC-50 ... PF 1 1/2  
 PF 1 1/4 (変換アダプタ使用)  
 PF 1 (変換アダプタ使用)  
 PF 3/4 (変換アダプタ使用)

VGC-64 ... PF 2  
 PF 1 1/2 (変換アダプタ使用)  
 PF 1 1/4 (変換アダプタ使用)

## 5. 配線

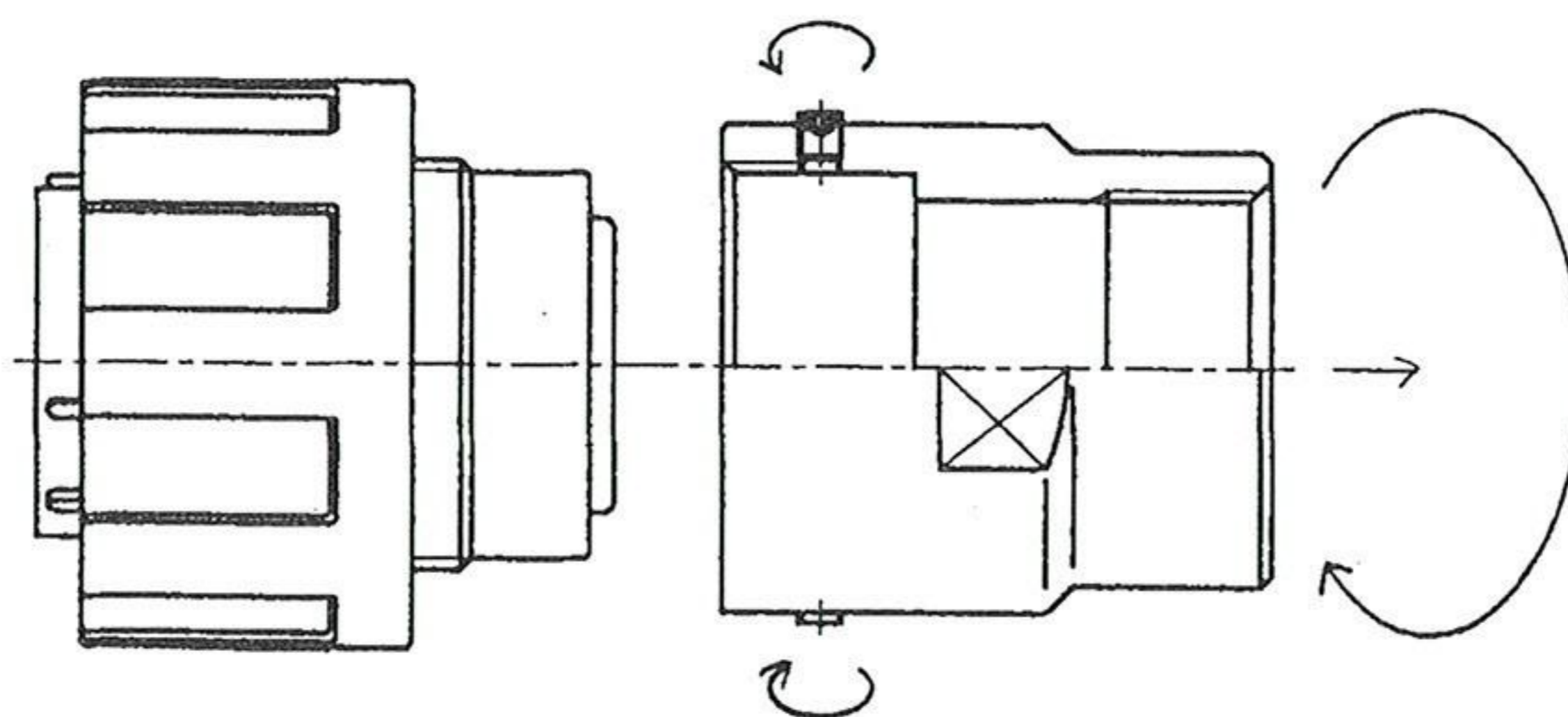
## 5. 1 コネクタの分解

プラグは、エンドベル側面の止めねじを緩め、エンドベルを反時計方向に回しバレル部よりはずし、ケーブルに通しておく。




注意

止めねじは充分緩めてからエンドベルを回すこと。  
 止めねじはエンドベルから外さないこと。  
 エンドベルをケーブルに通す際、向きを間違えないこと。



## 5. 2 端末処理寸法

表-2及び表-3の寸法で端末処理を行う。

	注 意	<p>シース剥きは、ワイヤーストリッパーやケーブルストリッパー等（刃こぼれや食い違い等がある工具は使用しないこと）で行うこと。</p> <p>シースや芯線に傷をつけないこと。</p>
---	-----	---

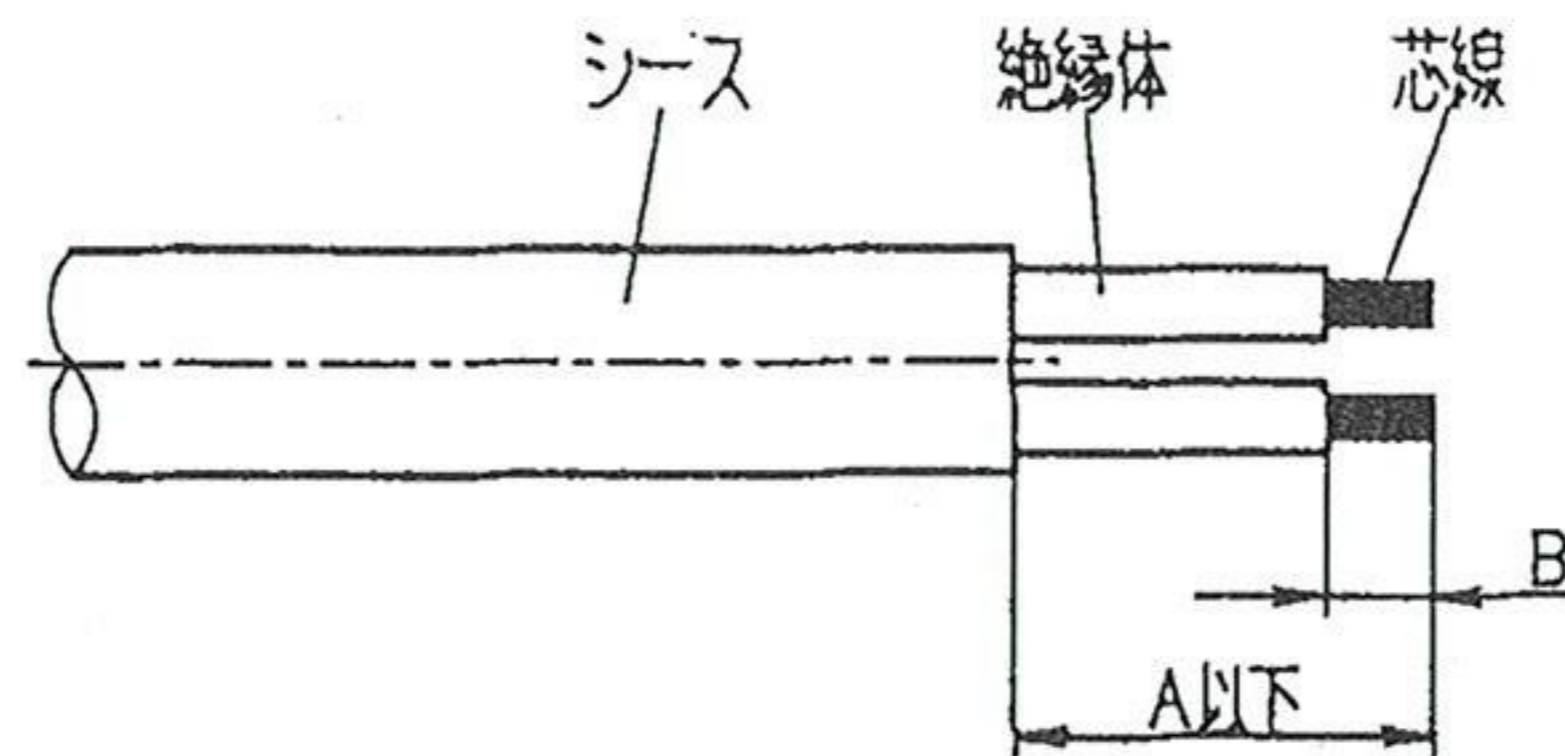


表-2 端末処理寸法 (A寸法)

363	80 mm以上
503, 506	100 mm以上
643, 646	
367, 5010	120 mm以上
5012	
5024, 6430	150 mm以上

表-3 端末処理寸法 (B寸法)

コンタクト A	7 ~ 8 mm
コンタクト B	9 ~ 10 mm
コンタクト C	11 ~ 12 mm
コンタクト D	13 ~ 14 mm
コンタクト E	15 ~ 16 mm
コンタクト F	17 ~ 18 mm
コンタクト Z	9 ~ 10 mm



NANABOSHI PDF DATA

## 御 参 考 用

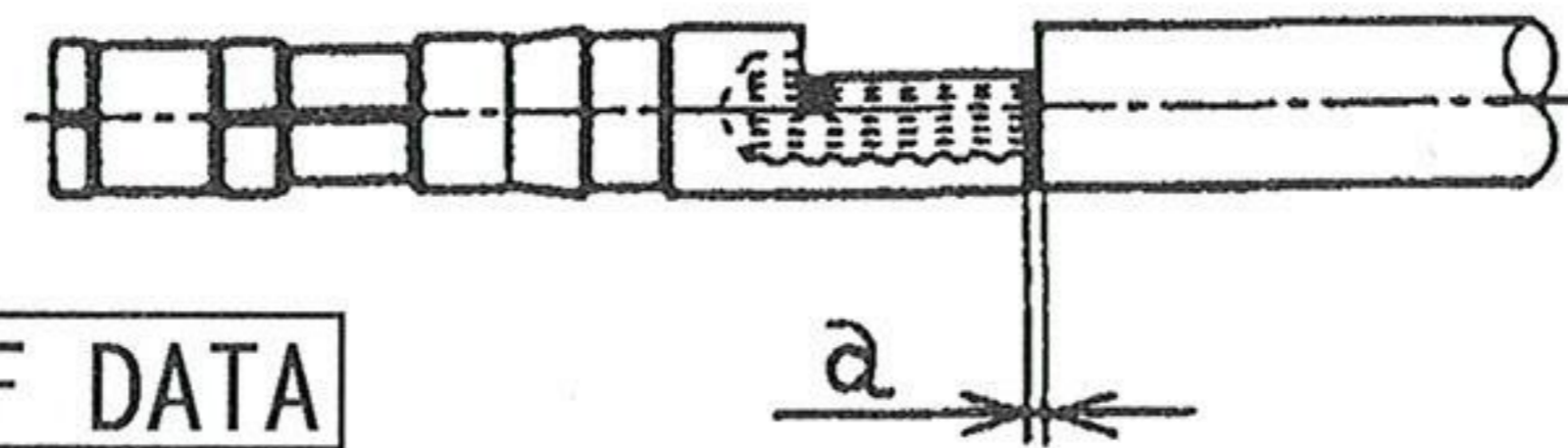
ご注意：記載内容については、製品向上のため  
予告なく変更することがありますので  
ご了承下さい。

## 5. 3 コンタクトの圧着

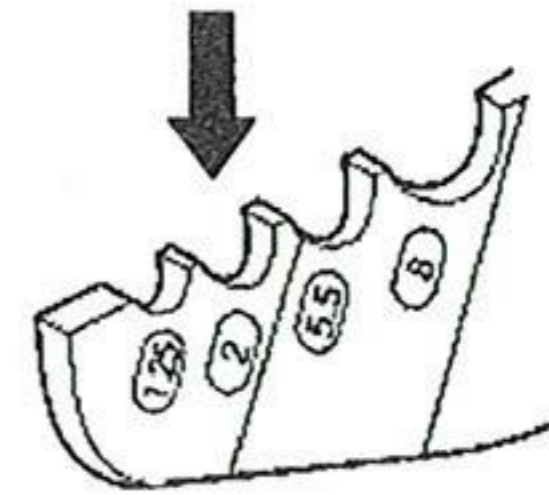
芯線をコンタクトの圧着部の穴に奥まで押し込みながら圧着工具を用い圧着する。

 <p>注意</p>	<p>穴から芯線が一本も出ていないこと。          芯線の先端がコンタクトの切り込みを越えていること。          コンタクト Z 以外は、J I S C 9 7 1 1 に規定されている工具を使用し確実に圧着すること。          導体断面積<math>1.25\text{mm}^2 \cdot 2.0\text{mm}^2</math> とともに<math>2.0\text{mm}^2</math> のダイス位置にて圧着を行うこと。※1           圧着後、コンタクトとシースの隙間 (a) が 2 mm 以下のこと</p>
---	---

圧着後



 ※1




NANABOSHI PDF DATA

## 御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

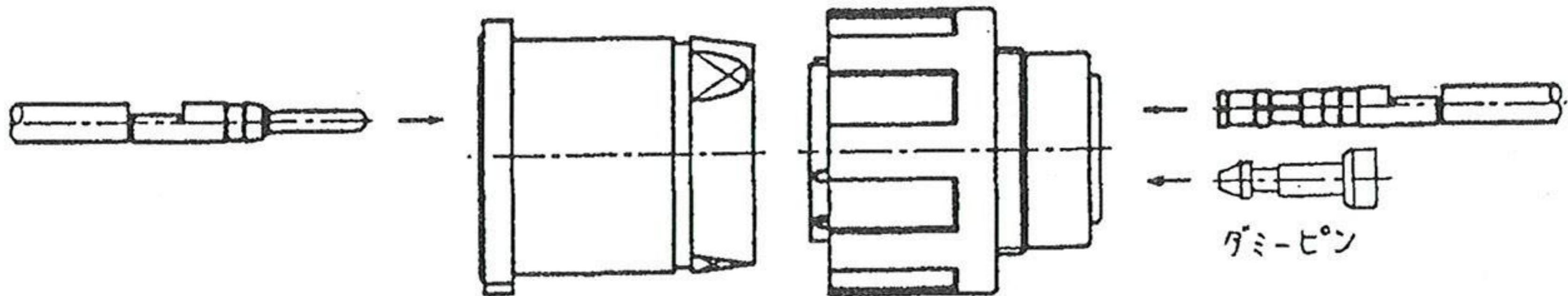
## 5. 4 コンタクトの組み込み

圧着したコンタクトを、指定された端子番号に組み込む。


 <p>注意</p>	<p>コンタクトが確実に挿入されると“パチッ”と音がする。          組み込み後、念のために電線を軽く後方に引張り、抜けてこないか確認すること。</p>
---	--

レセプタクル側

プラグ側




プラグ側は空いている端子番号にダミーピンを入れる。

 <p>注意</p>	<p>ケーブルもしくはダミーピンで全部の端子番号がふさがっていることを確認すること。</p>
---	--

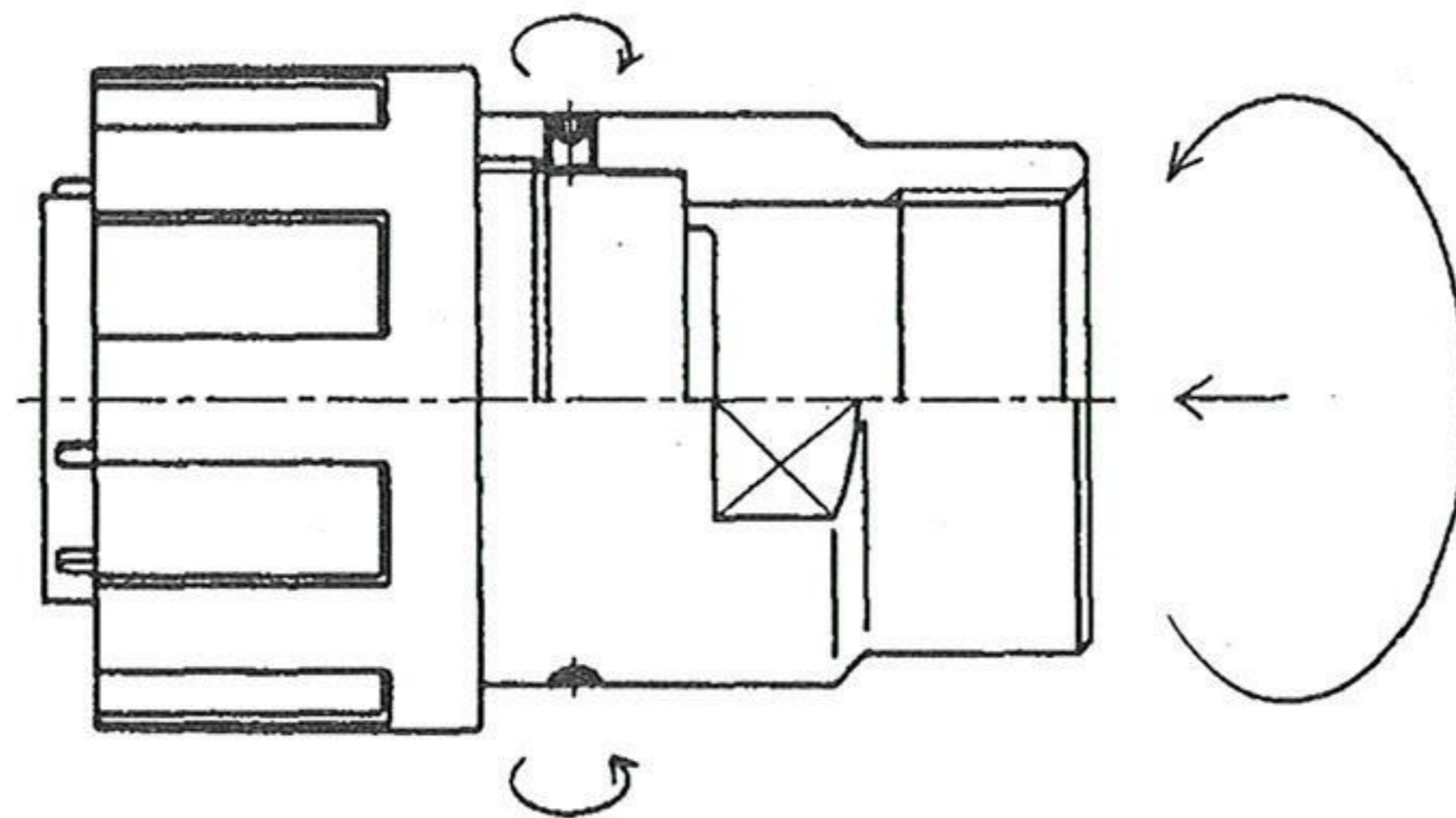
## 5.5 コネクタの組立

バレル部にエンドベルを確実にねじ込み、エンドベル側面の緩み防止用止めねじを締め付ける。

 <p>注意</p>	<p>プラグの組み立ては、バレル部を固定しエンドベルを回転させてねじ込むこと。 エンドベル側面の止めねじは、2個確実に行うこと。</p>
---	--

## 参考締め付けトルク

バレル-エンドベル間 50 kgf 前後 (手で締められるだけ締めて下さい)  
緩み防止用止めねじ 4 ~ 5 kgf



NANABOSHI PDF DATA


**御 参 考 用**

ご注意：記載内容については、製品向上のため  
予告なく変更することがありますので  
ご了承下さい。


## 6. コンタクト引き抜き工具の取扱

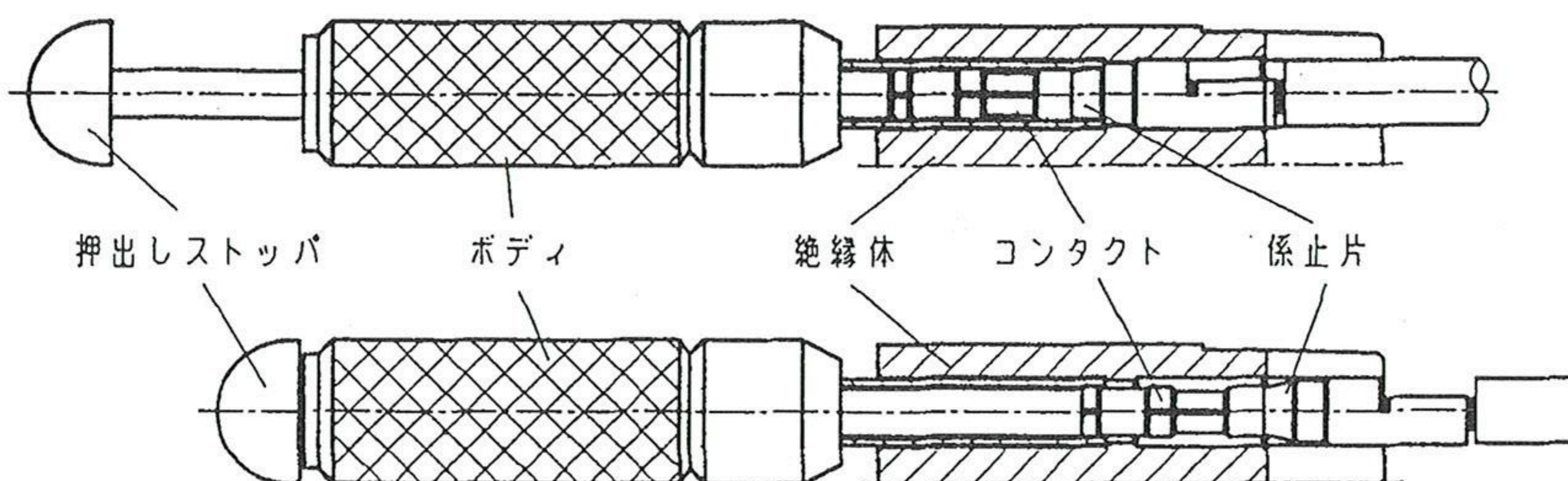
コンタクトを絶縁体に誤挿入してしまった場合、以下の手順でコンタクトを絶縁体より引き抜く。

- (1) 引き抜き工具の先端を絶縁体の結合面側の穴に入れ、結合面に対して垂直方向にボディを強く押しつけ、工具により係止片が閉じた状態にする。
- (2) 結合面に対して垂直方向にボディを強く押しつけたまま、押し出しストッパを押す。

	注 意	押し出しストッパを押すとき、押し出しストッパとボディの間に指や手を挟まないように注意すること。
---	-----	---

- (3) 結線側に押し出されたコンタクトを絶縁体より引き抜く。

	注 意	係止片が完全に閉じていない状態で押し出しストッパを押すと係止片が破壊する恐れがあります。 再度絶縁体にコンタクトを挿入するときは、係止片にひびや割れ、変形などがいないか確認すること。
---	-----	--



NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。